



明野中央病院広報誌 | vol.22

当院といたしましては、入院治療の終了後、安心してご自宅に退院していただけるよう、訪問看護と訪問リハビリ、ケアマネージャーを利用していただきたいと考えています。退院後の状態悪化や再入院を防ぐための訪問看護サービスは大変効果的であり、実際

当院に併設の「訪問看護ステーションふくろう」と「明野中央介護支援センター（居宅介護支援事業所）」を紹介いたします。看護師やリハビリ専門員が患者さんのご自宅を訪問し、併せて常勤のケアマネージャーが介護保険の利用について相談を受けています。昨年4月のオープン以来、多くの方にご利用いただいています。

少子高齢社会の中で、病院は治療をする場所であり、その後の療養は在宅でという考え方が広がってきており、病院での入院期間もますます短くなっています。一方、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯も増加し、障害や病気を抱った方の在宅での療養には大変な不安があります。家族の介護負担も増加します。

「不苦勞」、「福郎」とも呼ばれます。患者さんの安心と幸福に少しでも力になりたいという思いから訪問看護ステーションの名前にその「ふくろう」を付けました。「訪問看護ステーションふくろう」と「明野中央介護支援センター」では、訪問看護師とリハビリ専門員、ケアマネージャーが連携し、24時間体制で患者さんの在宅での療養生活を支援しています。「地域に根ざした医

療と介護と介護支援」をモットーに、常に専門技術を磨き、患者さんやご家族の立場に立ち、地域の皆様から信頼される訪問看護、訪問リハビリ、居宅支援事業を目指します。皆様のご支援をよろしく願っています。

医療と介護・病院と在宅の連携を目指して 「訪問看護・訪問リハビリ・ケアマネージャー」のご案内

療と介護と介護支援」をモットーに、常に専門技術を磨き、患者さんやご家族の立場に立ち、地域の皆様から信頼される訪問看護、訪問リハビリ、居宅支援事業を目指します。皆様のご支援をよろしく願っています。



ご自宅までお伺いします。お気軽にご相談ください!!

■お問い合わせ
電話 097-558-3211
(内線 265・505)

■営業時間
・月曜日～金曜日
8時半～17時半
・土曜日
8時半～12時半
日曜・祝祭日・年末年始は原則として休業いたします。

外来担当医師のご案内

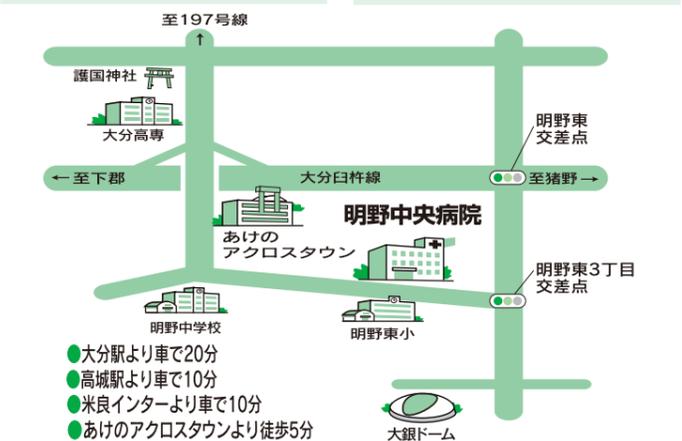
担当医師名	月	火	水	木	金	土
院長 木下 昭生	午前	○	○	○	○	○
	午後					休診
内科部長 西宮 実	午前	○	○	○	○	○
	午後		○			休診
佐分利益穂	午前					
	午後			○		休診
竹野祐紀子	午前					
	午後				○	休診



担当医師名	月	火	水	木	金	土
副院長 中村英次郎	午前	○	手術	手術	○	○
	午後	手術	○ 15:30~	○ 15:30~	手術	休診
こひ・かぜつ・リウマチセンター-センター長 藤川 陽祐	午前	○	○	○	手術	手術
	午後	手術	手術	手術	○	休診
こひ・かぜつ・リウマチセンター-センター長 原 克利	午前	手術	○	○	手術	手術
	午後	○	手術	手術	手術	休診
荻本 晋作	午前				手術	
	午後				○	休診
橋本 二郎	午前					
	午後			○		休診
ペインクリニック 高谷 純司	午前	○			○	
	午後					休診

INFORMATION

診療科目	受付時間
内科・消化器内科・リウマチ科 整形外科・形成外科 リハビリテーション科 麻酔科・ペインクリニック内科・放射線科	月曜日～金曜日 8:30～11:30 14:00～17:30 土曜日 8:30～11:30 日曜日・祝祭日 休診



病院理念
医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

患者さんの権利について

私共は、患者さんの権利に関するレスポンス宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納めて治療を受ける権利（セカンドオピニオン）

医療法人社団 唱和会

明野中央病院

発行日 2016年1月
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211 (代表) FAX 097-558-3709
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp
http://www.akenohp.jp/

常勤医師の紹介

整形外科 二つ・かんせつ・リウマチセンター 副センター長 原 克利

2014年7月より当院に勤務しております整形外科の原克利です。以前は大分大学医学部附属病院で、主に股関節疾患の治療に携わっていました。現在、藤川二つ・かんせつ・リウマチセンター長と共に膝や股関節の人工関節置換術を中心とした手術を多く行っています。

人工関節置換術というと「大きな手術」「痛い手術」といった印象があると思います。確かにその通りであることは間違いのないのですが、私が着任してからも少しずつですが、工夫を加えながら手術が進歩していることを実感しています。例えば、以前はご自身の血液を術前に貯めていたのですが、現在、その必要はほとんどなくなりました。また、麻酔科と連携し、なるべく術後の痛みが少ないようにブロック注射などを併用して手術を行っています。これからも患者さんの訴えに耳を傾け、少しでも「大きな手術」「痛い手術」と感じさせないような努力をチーム全員で行って参ります。

また、数年前より肩関節手術を内視鏡視下で行うための海外研修などにも参加し、より低侵襲での治療ができるようになってきました。手術の話ばかりかと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、ほと

んどの疾患は保存療法（手術しない方法）で治療が可能です。最終的な手段が手術となります。理学療法士、作業療法士などとも連携し、最も良い治療法を選択していただけるようにしたいといつも思っています。四肢、関節の痛みや機能障害でお困りの際はどうぞお気軽にご相談ください。



二つ・かんせつ・リウマチセンター 副センター長 原 克利

専門分野
整形外科
資格等
日本整形外科学会認定専門医・日本整形外科学会認定スポーツ医・日本リウマチ学会専門医

常勤医師の紹介

麻酔科 副部長 高谷 純司

昨年4月に着任しました、麻酔科の高谷純司です。前の職場である大分大学医学部附属病院では、慢性の痛みでお困りの患者さんの治療をペインクリニックで、また手術を受ける患者さんの麻酔・鎮痛を手術室で担当していました。



麻酔科副部長 高谷 純司

専門分野
ペインクリニック、手術麻酔、神経ブロック
資格等
麻酔科標榜医・日本麻酔科学会認定麻酔科専門医・日本ペインクリニック学会専門医

日本整形外科学会

脊椎内視鏡下手術・技術認定医



副院長 中村英次郎

『日本整形外科学会 脊椎内視鏡下手術・技術認定医』という資格は、取得するための基準が非常に厳しく、各都道府県に3〜5人程度しか認定を受けた医師が登録されていません。

(参考: <https://www.joa.or.jp/jp/index.html>)
脊椎は骨や筋肉などをはじめ神経や靭帯や血管など人間の体の中でも複雑で重要な部分です。通常行われている脊椎の手術も難しいのですが、さらに傷口の小さい範囲での手術を内視鏡を使って行うのですから技術認定の基準も難しいものとなります。

資格取得のためには脊椎専門医としての手術を300症例以上実施することや内視鏡手術に関する研究の学会発表、実際の脊椎手術に関する症例報告、内視鏡手術の技術研修な

どの様な基準をクリアする必要があります。副院長で整形外科医の中村英次郎はこの資格を取得しています。内視鏡下手術は従来の手術に比べ体への負担が遙かに小さく、患部を正確に確認しながら手術を行うことが出来ます。認定医による脊椎内視鏡手術は患者さんにより安全な医療を提供できると考えられています。腰のヘルニアなどでお悩みの患者さんは中村までご相談ください。



病院増改築工事について

当院は、2015年9月より病院建物の増改築工事を行っています。病院東側駐車場に新しい建物を増築し、現在の本館にある医療機能（外来診察室、臨床検査室、レントゲン室、CTやMRI室、薬剤室、病室、手術室など）を新しい建物に移転します。その後、増築建物と現在の東病棟を接続し、現在の本館部分を取り壊す計画です。完成は2017年2月を予定しています。工事にあたりましては、細心の注意を払い、安全第一で取り組んで参ります。工事期間中は、近隣住民の皆様、患者さん、お見舞いの方々など各方面の皆様にご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。



新病院完成イメージ